

München

ミュンヘン・エコシステムの特徴

- ◆ ドイツ南部に位置するバイエルン州は、ドイツ国内総生産（GDP）の18%を占める一大産業集積地。自動車関連産業を中心に、近年日本企業の進出も増えている。州内にはBMW、アウディ（自動車）、マン（自動車、機械）、シーメンス（電機・エンジニアリング）といったグローバル企業ほか、国際競争力ある中堅企業も多数集積。
- ◆ 欧州最大の応用研究機関フ라운ホーファー研究機構をはじめとした研究開発機関や、ミュンヘン工科大学、ルートヴィヒ・マキシミリアン大学など高等教育機関が所在。大学立脚型スタートアップが次々生まれ、それを大学発アクセラレーターや企業が支援するエコシステムが育っている。
- ◆ 2016年にグーグルがクラウド内のデータセキュリティ・AI用のソフトウェア製品開発拠点をミュンヘンに設置。IBMやマイクロソフトもそれぞれIoTやAIのグローバル拠点をミュンヘンに設立。
- ◆ 2018年にはプロセスマイニング分野で先行するCelonis SEがユニコーン企業に。Flixbus（欧州最大の長距離バスネットワーク）やVoxeljet（工業用3D印刷システム）など、IPOに成功した企業も多数。モノづくりを支える有力なスタートアップが多数誕生。

ミュンヘン地域のスタートアップエコシステムの詳細は下記ウェブサイトも参照ください。

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2018/0602/0e07d9eab83545d6.html>

最新ニュース：ミュンヘン市内にイノベーション・協業を促す施設が開設されました。

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/07/841a8e0545c149c7.html>

提携先アクセラレーター

German Entrepreneurship GmbH

ジャーマン・エンタープレナーシップ <https://www.german-entrepreneurship.de/>

- ・ ドイツ最高峰レベルの大学の一つルートヴィヒ・マキシミリアン大学から生まれたスタートアップ・アクセラレータ。
- ・ シーメンスなど主要な地元企業や地域の大学研究機関との共同プロジェクトの実績
- ・ FlixbusはGerman Entrepreneurship が支援したスタートアップの成功例

支援メニュー

- ・ 事業戦略立案等に関するメンタリング
- ・ 現地企業、VCとの面談アポイントメント



GERMAN
ENTREPRENEURSHIP
GMBH

色彩豊かな欧州のスタートアップエコシステム

ジェトロ・グローバルアクセラレーションハブ設置都市



日系スタートアップの現地事業展開および、日系企業の現地スタートアップとの協業・連携活動を個別にお手伝いします。

www.jetro.go.jp/services/jhub/

ロンドン

欧州最大のエコシステム。2020年の投資額は106億ドル（都市別で世界4位）。投資先のTop3はフィンテック、ヘルステック、エンタープライズ向けサービス。

パリ

スタートアップ支援策フレンチテックと豊富な理系人材を背景にAI/ディープテックに強み。充実した研究開発税制により近年グローバル企業によるR&D投資も盛ん。

ヘルシンキ

環境問題の解決やQOL向上に対する官民の高い関心と推進力がローカルのみならずグローバルでも競争力を持つスタートアップを創出。SLUSHの開催地。

ベルリン

ドイツ最大のエコシステム。成長領域はフィンテック、AI・データ、IoT、クリーンテック、ヘルス・バイオテックなど。外国人による起業が7割を占め、英語でビジネスが可能。

デュッセルドルフ

独最大の経済州の州都。エネルギー、機械・自動車、IT分野の大手・中堅・スタートアップが集積。Fraunhofer IPT、アーヘン工科大学では5G、IoT研究が盛ん。

ミュンヘン

BtoBのスタートアップが集積。BMW、シーメンスなどの自動車・機械関連分野の協業・潜在顧客が存在、ミュンヘン工科大学等からのスピノフも多い。

色彩豊かな欧州のスタートアップエコシステム

その他注目のスタートアップエコシステム

アムステルダム

欧州各市場へのアクセスが良く、英語話者が多い。Uber、Netflix、Tesla等米企業が、欧州事業拠点として同地を選択。フィンテック、スマートシティに強み。

ダブリン

英語圏、若い労働力、低廉な法人税を背景に、GAFAも開発拠点を構える。アイルランドの人口一人当たりのスタートアップ投資額は英国をしのぐ。

バルセロナ

南欧最大、投資件数で欧州5位のエコシステム。スマートシティやバイオ技術に強み。手頃な人件費と質の高い生活環境も魅力。携帯見本市「MWC」の開催地。

リスボン

ウェブサミット誘致を追い風に近年急速に発展。タイムラー、グーグル、富士通など外資デジタル開発拠点設置も相次ぐ。欧州の中でもコストメリット、人材等に定評。

ストックホルム

北欧トップのVC投資額を誇る。医学分野で著名なカロリンスカ研究所、5Gインフラをリードする通信大手のエリクソン等が立地。都市別ユニコーン数は欧州2位。

タリン（エストニア）

エストニアのスタートアップ数は人口10万人あたり85社と欧州で最も多い。法人設立から運営まで全てオンラインで可能な上、法人税が配当のみにかかる制度が特徴。

ビリニウス（リトアニア）

近年海外からの直接投資が増える新興のエコシステム。欧州のフィンテックのハブの座を狙い、中央銀行もフィンテックの成長を後押しする政策をとっている。

コペンハーゲン

近年、フィンテック、フードテック、デジタルヘルス等でスタートアップが成長。欧州のバイオテッククラスターとして名高いメディコンレーも広がる。

チューリッヒ

連邦工科大学（ETH、EPFL）から輩出される人材と技術力が強み。スイス全体では伝統的に強い金融、医薬品産業に加え、近年はICTやフードテックも台頭。

ミラノ

ミラノのあるロンバルディア州を中心に、近年企業数・投資額ともに拡大中。企業向けサービス（R&DやITサービスなど）が多い。